

平成 30 年度 千二地区公民館文化祭 第一回実行委員会 議事録

日時 平成 30 年（2018 年）6 月 30 日（土）11:40~12:00

出席 企画運営委員（川内さん欠席）、館長、事務員

配布資料 第一回実行委員会レジュメ、文化祭お仕事分担表、参考資料去年 7 月 8 月あたりにやっておいたこと

発言採録

委員長 文化祭のことは何か、連絡あるんですか？

館長 いや、だから実行委員会を。

委員長 この資料、中身に関してはよろしいんですか。これは黙読しといてくれ、と

館長 いや、だから、これを委員会としてやって、初回の委員会としてやっていただく。

委員長 やるんでしょ。これを、まあ、こういうことですよ、ということやね。今日が第一回になるんですかな。

館長 そうです。

委員長 ええ、ちょっと、文化祭の件を討議するには時間があまりないんで、一応前回役割を決めました、決めたとするか、まあ、決めさしてもらいましたよね、それを担当一覧準備へんで書かしてもらってます。一枚目のところは特に問題はないと思います。

館長 変更事項だけ、いいですか。役員のところ、すいません、委員長は杉田さん、副委員長を連合会長と、人権協の代表にお願いします。去年は廣田さんにも入ってもらったはずなんですけども、今回は公民館に来てもらってますので入れてません。会計は氏平さん、それから監事、これ、会計監査ですけれども外部の方にお願いしたい、ということで防犯の原さんと体振の坂田さんをお願いをしました。この辺でご了承をお願いしたいと思います。変更に関しては以上です。あと、日程的なものちょっとずれてるだけで、去年と同様ですので、（指摘を受け）2-3の11/4(土)が3日(土)の間違いです。失礼しました。

委員長 ううん、これでわかるんですか。ええっと、どっちかという準備関係の徹底をしとかないかん訳でしょ。準備関係の。設営は27日10時からやりますよ、で、いこいの間と保育園の設営は11月3日？

館長 1日目ですね、当日の、

委員長 3日はもう本番でしょ、これ、

館長 そうです。

氏平 夕方に、保育園といこいの間の設営やから、保育園はできない、それでないと、保育してるから。

委員長 それは、次のページのところの、担当の方でその時にやってもらうことになるのかな。

館長 そうなります。

委員長 そうということですよ。だから、その担当になっていただいた方が、色々検討していただかな、たとえば記念品なんかだったら、記念品を考えるということに

なってるから、担当の方でどういう記念品をすとか、というようなことを決めてもらわないかんですね、

藤田 前もって

委員長 前もってね。それを担当の方がいつまでにこれは、要するに、公民館の方に、提案せないかん訳ですね。

福田 最初に参加者の数の集計をいただかないと

委員長 それはそうですね。

福田 物品は去年とか2, 3年前とかと考えて、資料がほしい。

委員長 そうですね。だから人数とかってというのは公民館の方にきいてもらわな、館長の方にきいてもらわなあきませんね。わからないですもんね。だから、そういうことをいつまでに決めるのか、と

藤田 書いてるのと違うの。参考資料。ね。

倉田 一番最後に、去年やってるのの、参考資料に

藤田 そうそう。

倉田 だいたいこのへんでこんな感じで

委員長 去年ベースってというのはね、ほとんどね、公民館が主体でやってるからね、我々委員の方が具体的にどうこうってというのはあんまりしてなかったんじゃないかな。で、今年は役割を決めてそれをしましょう、とこういうことになっておるわけでしょ、だから、じゃあ、いつまでにその決められたものを一応公民館の方へ、館長の方へ報告しないと、情報が一元化しませんわな。だから、10月の27日に設営をしますよ、ということはおもうわかってるわけですよ、例年同じことをやってるわけだから、その前段階の担当者の方がかかわってもらって、それを館長の方へ報告してもらって、とこういうことになってるわけですね、今年は。だから、今まではあんまりやってなかったことを今年はやらないかんから、その担当の方が何日までに自分の担当領域のことを報告してもらおうや、ということはあるわけですよ。それはいつまでに、というようなことをむしろ、なんだったら、館長の方から担当者にこれはいつまでに欲しいとか、ね、言うてもらわなあかんかもわからへんね。そうかも…

館長 (館長ではなく) 委員長

委員長 いや、委員長やけど、私がいつもおるわけじゃないから

福田 その都度担当者が館長に個別にきくとなるとまた、すごく、大変ですよ。たとえば私が、下さい、と、出演者の数何人ですか、という形で連絡取り合って仕事を進めるのか、去年ね、タイムスケジュールの紙もらったと思うんですよ、ここで、出演者の数が出ます、というのだったんですけど、もし、今年それがなければ自分の仕事を把握してその都度館長にその前年の資料もらう、という形で進めるのか、そのだけ決めていただいたら

委員長 あんまり、ね、館長ね、われわれに振る振る、というのはいいいんだけども、あんまり極端にね、振っちゃうと、やってる方が去年の実績がないからね、いきなりそれを言われてもね、たぶんわかんない、と思うんです。だから、去年までの流れだとか、状況を伝えてもらって

館長 お出ししてます。先月、先々月かな

委員長 も一回ちょっと出してもらった方がいいね。常にそのスケジュール感をね、言っというてもらわないと、わからないと思う。それで、僕のところへ連絡くれるといっても、ここにいないからね、そんな、家に電話もらってもね、まとめようがないんで、やっぱり公民館の方に言ってもらわないと、だめだと思うんですよ。

氏平 いっぺん話し合いしましょか。

館長 今おっしゃったタイムスケジュールについては先々月にお出ししてると思いますのでご参照ください。それから、今、この最後のページに、去年は7、8月にこれぐらいのことをしてますよ、というのを提示しておりますので、

倉田 去年までのタイムスケジュールをもとに担当は担当で動けばいい。で、内容については、去年は、対象になる業者とかがね、同じであれば、去年はどうやったということで詰めればいいのであって、ベースとしては一からではなく、この間もらったタイムスケジュールをベースで、それぞれの担当で話して分からないところは館長なり、事務員なりに

委員長 細かいことがいっぱい出てくると思いますよ、あの、演芸でもね、めくりのやつがあるじゃないですか、ああいうの、誰が書くの、とかね、去年まではやってました、と、こっち側で、公民館でやってました。でも、今年は書いてください、ということであればね、そういうことも決めておかないとね、

永松 それは決められてます、私担当になってます。ただ、プログラム作成となると、一番骨子ですから、関係者が全部集まらないと、プログラム作成できない、

委員長 そういうことですね、だから、そういう問題がもろもろ出てくると思うんです、あの、例えば去年はそういうことをやってなかったでしょ、やってなかったでしょ、それを今年はやってください、という話だから、永松さんもそれを言われても、打合せがないことにはできませんよ、と

永松 できない。

委員長 いう話ですよ。いろいろ出てくるはずなんです。それ以外でも。たぶんね、あの、そうすると何回か、ここで形式的な会議をするだけじゃなくてね、実質的な打ち合わせをして行かないとね、できないと思います。だから、この月一回のこの会議の席上ではね、たぶんできないと思う。だから、そういうことを、ちょっと、館長とも相談をして別途連絡をさしてもらいます。

島田 そうですね。

委員長 でないと、実際には動けないと思いますから、そういうことで改めて、ご連絡をさせていただきます。

島田 パートパート集まりないしはもう一回ぐらいは委員会の集まりをやってそれで調整していかんと進まない。

委員長 前へ進まないと思いますから。ね、はい、という形で連絡をさしていただきたい、と。で、今日の文化祭に関しては一応皆さん、資料がお手元にありますので、一応自分の担当ね、どういうことをするのか確認のために目だけ通しといていただく、ということをお願いをしたい、と。はい。じゃ、この後ちょっとわれわれは、打合せをしておきますので、改めてご説明をさせていただきます、と。

以上